

「自共対決」、安倍暴走ストップ

国民の声が生きる 新しい政治を

総選挙の結果、本格的な「自共対決」の時代が切り開かれつつあります。日本共産党は安倍政権の暴走を国民とともに包囲し、国民の声が生きる新しい政治へがんばります。

日本共産党



この姿勢を
つらぬきます

「対決」

安倍政権の危険な暴走に正面から対決します

「対案」

国民の立場で常に抜本的な対案を示します

「共同」

国民のみなさんと力あわせ政治を動かします

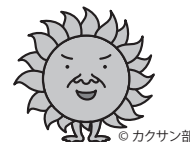
消費税
10%

「先送り」実施でなくキッパリ中止
消費税に頼らない「別の道」を

- 富裕層や大企業に応分の負担で20兆円の財源。
- 大企業の内部留保の一部を活用して国民の所得増で税収を増やす。10年後には約20兆円の税収増。

原発
再稼働

再稼働ストップ
「原発ゼロ」の日本へ



「稼働原発ゼロ」で1年3カ月余。日本社会は原発なしで立派にやっていけることが証明されました。ゼロの決断こそ、再生可能エネルギーの普及を加速します。

アベノ
ミクス

格差拡大・景気悪化ストップ
くらし第一で経済をたてなおす

景気回復へ、①人間らしく働けるルールをつくる、②社会保障の切り捨てから充実へ、③TPP撤退、農林水産業、中小企業と地域経済を振興。

基地
問題

辺野古への新基地ストップ
基地のない平和な沖縄を



辺野古の海

沖縄県知事選挙で「辺野古新基地ノー」の翁長雄志さんが圧勝したのに続き、総選挙では「オール沖縄」の4候補が基地推進の自民党候補に完勝しました。県民のこの意思を無視するのは民主主義の国として許されません。

集団的
自衛権

「戦争する国づくり」許さない
憲法9条生かす平和外交を



紛争を話しあいでも解決する平和の枠組み＝「北東アジア平和協力構想」を提唱し、その実現のために内外で行動します。

政治と
カネ

“身を切る”というなら
政党助成金制度は廃止を

維新の党や民主党、自民党などは国民の税金である政党助成金(320億円)にどっぷりつかりながら、国民には負担おしつけ。「身を切る改革」というなら政党助成金はキッパリ廃止すべきです。